平成 24 年 9 月 13 日

各　　位

会 社 名　株式会社翻訳センター
代表者名　代表取締役社長　東 郁男
（コード：2483　JASDAQ スタンダード）
問合せ先　取締役経理部長
（兼）総務部長　　中本　宏
（TEL．06‐6282‐5013）

# 第二次中期経営計画策定に関するお知らせ

当社グループでは、平成 25 年 3 月期から平成 27 年 3 月期までの 3 ヵ年における第二次中期経営計画を策定いたしましたのでお知らせいたします。

記

１．第二次中期経営計画策定の背景

当社グループは、平成 23 年 3 月期を最終年度とする第一次中期経営計画において、経営基盤の強化と主力事業領域における成長を基本方針として取り組み、翻訳支援ツール「HC TraTool」の開発と導入開始、米国子会社の黒字化の達成、高付加価値サービスの増強など、一定の成果を上げてまいりました。

当社グループを取り巻く事業環境は不透明な状況が続いておりますが、平成 28 年 3 月期に迎える設立 30 周年を見据えて、第一次中期経営計画での成果のさらなる発展と、言葉に関する事業領域の拡大による新たな価値創造を推進させるべく第二次中期経営計画を策定いたしました。

２．第二次中期経営計画の基本方針

当社グループは、経営ビジョンを「すべての企業を世界につなぐ言葉のコンシェルジュ」と定め、第二次中期経営計画を策定しました。多くの企業においてグローバル展開が成長に不可欠な課題となっている今、言葉に関連して、お客様が直面されている課題を真摯に受け止め、ご満足いただけるようサービスを拡充し続けることが当社グループの使命と考えます。このビジョンを実現するための基本方針は次の 3 点です。

（１）事業領域の拡大

翻訳に留まることなく、言葉に関する多様なニーズに対応できるよう、事業領域の拡大を図り、お客様のご要望にお応えいたします。

（２）情報・経験の集約と活用

積み重ねてきた情報資産を高度に活用するために IT を駆使し、付加価値の高いサービス

が提供できる体制を整備します。

（3）お客様の期待を上回るサービス品質

常にお客様の視点から解決策を明確にし、組織力を活かして、高いサービス品質を実現します。

3．重点施策

第二次中期経営計画における重点施策は以下の 3 点です。

（1）株式会社アイ・エス・エスの子会社化による事業領域の拡大

当社グループは、言葉に関する事業領域を拡大するべく、平成 24 年 9 月 3 日に株式会社アイ・エス・エスの全株式を取得し、子会社化いたしました（株式会社アイ・エス・エスの傘下には、株式会社アイ・エス・エス・インスティテュート及び株式会社アイ・エス・エス･コンサルティングがあります。これら 3 社を総称して、以下 ISS と表記いたします)。今後は、当社グループとしてのシナジー効果を発揮し、サービスの多様化と収益の拡大を目指します。ISS の行う主要事業は以下の 4 事業です。

□ 通訳／国際会議運営事業

ISS は通訳事業会社として高いブランド力を保有しています。翻訳事業を中心に運営してきた当社グループにとっては、通訳／国際会議運営事業への本格的な進出となります。

□ 通訳者／翻訳者育成事業

通訳者／翻訳者育成事業においても、ISS は長い歴史を有し、高いブランド力を築いております。また、当社グループに加わることにより、翻訳者育成事業をさらに強化できると見込んでいます。本事業により、当社グループ全体の翻訳者／通訳者の人材育成基盤を形成するべく注力してまいります。

□ グローバル人材サービス事業

ISS では通訳者／翻訳者を中心としたグローバル人材の派遣／紹介事業を行っております。グローバル展開を加速するお客様への人材サービスがより一層拡充できます。

□ 翻訳事業

ISS においても翻訳事業を行っており、グループ全体でのシェア拡大を目指します。

（2）専門性の強化

当社グループの翻訳事業の強みは、高い専門性にあります。従来から、特許・医薬・工業・金融の 4 分野に特化することによって、高い専門性を実現してまいりました。今後は既存分野の専門性をさらに強化し、かつ、新しい専門事業領域を確立するべく、以下の施策に取り組んでまいります。

□ ローカライゼーション

平成 24 年 4 月に設立しましたローカライゼーション推進部を中心に、ローカライゼーション／マニュアル翻訳事業の拡大を図ります。同事業は日本国内翻訳市場の約 3 割（約 600 億円）を占める市場でありながら、従来当社グループが十分に開拓できていなかった市場であります。当社グループは、この分野での専門人材や設備の強化を行い、専門

性を強化し、新規事業領域として育成するべく取り組んでまいります。

□ 特許出願支援

特許分野の事業拡大と専門性の高度化を図るべく、子会社である株式会社外国出願支援サービスと本社特許部門とが一体となって、特許出願支援業務の増強に取り組んでまいります。

□ メディカルライティング

医薬分野の事業拡大と専門性の高度化を図るべく、メディカルライティング事業を強化いたします。これによって製薬会社の開発部門との関係性を強化し、受注拡大を図ってまいります。

（3）翻訳制作体制の増強

当社グループの中核事業である翻訳事業において、サービス品質のさらなる向上と安定を実現するために、以下の 2 つの施策を中心に取り組んでまいります。

□ 品質管理推進部の設置

平成 24 年 4 月に設置した品質管理推進部を中心に、顧客ニーズに対応した品質マネジメントシステムを構築し、さらなる翻訳品質の向上と業務効率化に取り組んでまいります。

□ 翻訳プラットフォーム

翻訳支援ツール「HC TraTool」を中心とした翻訳プラットフォームを推進することにより、翻訳作業の効率化と同時に、さらなる品質の安定と向上を図ります。

4．連結業績目標

（単位：百万円）

| | 平成 24 年 3 月期<br>実績 | ⇒ | 平成 27 年 3 月期 |
|---|---|---|---|
| 連結売上高 | 5,536 | | 10,000 |
| 連結営業利益 | 440 | | 700 |

（注）上記に記載しております業績見通し等の将来に関する記述は、現時点での入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、予想数値と異なる可能性があります。

以　上